

みやのわ
バックナンバー

みやのわバックナンバーは、当院のホームページでご覧いただけます。

トップページ ▶ 病院について ▶ 広報

また、1F診療費支払機横、2Fさいみや文庫には冊子をご用意しておりますので、ご自由にお取りください。



当院の直近3カ月の診療実績

	令和3年3月	令和3年4月	令和3年5月
延外来患者数	32,206人	29,581人	26,622人
実入院患者数	1,339人	1,316人	1,405人
平均在院日数	12.1日	11.9日	11.8日
救命救急センター患者数	1,217人	1,234人	1,234人
救急車台数	577台	569台	649台
手術件数	575件	549件	527件

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30 ~ 11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費5,000円(税込)**をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、本館1階「**がん相談支援センター／医療相談・看護相談室**」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

駐車場料金のご案内

30分以内 **無料**

5時間まで **200円**

5時間以降 **1時間ごとに100円加算**



駐車券をなくされた場合は、**5,000円**をお支払いいただくこととなりますので、大切に保管してください。

栃木県からのお知らせ
救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満の方)

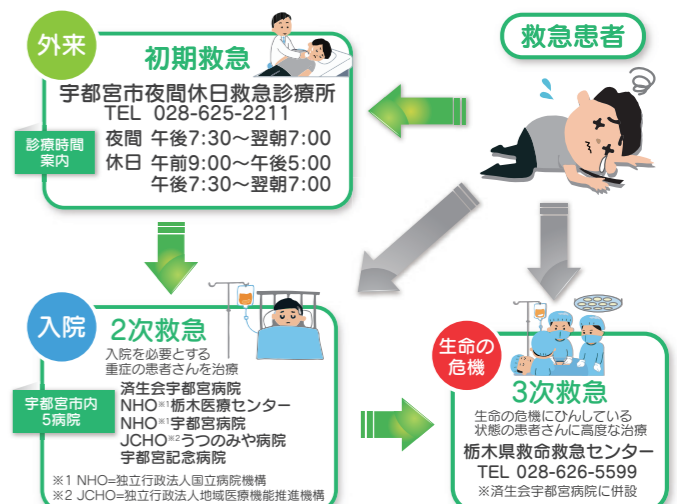
☎028-600-0099 局番なしの #8000
月～土 午後6:00～翌朝8:00
日祝日 午前8:00～翌朝8:00(24時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎028-623-3344 局番なしの #7111
月～金 午後6:00～午後10:00
土日祝 午後4:00～午後10:00

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

栃木県からのお知らせ
救急医療体制のお知らせ

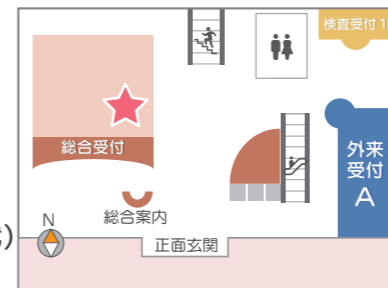


がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えたい…」「誰かに聞いてもらいたい…」こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



63歳の僕が初めてバイクに乗ったわけ
副院長 飯田 俊彦

高校時代からあれほど憧れていた大型バイク。26歳で二輪免許を取得したにもかかわらず乗ることを諦めたのは、もしかしたら一生台無しだ、と周囲から強く反対されたからでした。以来、その夢を一度も実現させることなく、かと言ってそれに代わる趣味もないまま、気がつけば仕事だけが生きがいの生活を送ってきました。そうして、定年まであと1年余りを残す時期に至り、果たすべき課題の多さに比べ残された時間のあまりの少なさを知ったとき、これまでの仕事への専心さが少しづつ諦めへと変わっていったのです。知らず知らず日々の生活も張りのない漫然としたものになっていきました。

そんなある日、人間60を過ぎたら残りの人生、悔いのないようやりたいたいと思う事は何でもすべきだ、とのある人の言葉から、ふとバイクに乗る昔の夢を思い出し、昨年思い切って初の

バイクを手に入れたわけですが。時には向かい風を切り裂きながら鳥になった気分、時には蛙の鳴き声を聴きながら里山の農道をのんびりと巡ったりしています。すると、日々の憂きなど一瞬にして消し飛んで頭の中が空っぽになり、後からは新鮮な考えが浮かんでくるのです。まるで26歳の昔にでも戻ったような錯覚に陥ります。そして、あの頃の自分が耳元で囁きます。「日暮れて道遠し、とはよくぞ言ったものだ。でもな、諦めだけを抱えて舞台を降りるのは寂しくないか」と。しばし考える間を置いてから今の自分がこう答えます。「そうだなあ、枯れるにはちよつと早いかな。もう少し自分なりの坂の上の雲とやらを探してみるとするか」と。

日暮りて昏るるに未だ遠し。登ってきた道を振り返ったため息をつくのは、もうしばらく後でもいいか、そう思うこの頃です。



ちよこっとメモ 8月3日

はちみつの日

健康食品としてのハチみつを広く知ってもらう日として「はち(8)みつ(3)」の語呂合わせから全日本はちみつ協同組合と日本養蜂はちみつ協会が1985年に制定したそうです。

ハチみつとは、ミツバチが花の蜜を採集し、巣の中で加工・貯蔵したものをいいます。人とミツバチの関係は古く、古代エジプトの壁画にミツバチを飼っている様子が描かれていたり、日本では平安時代に、ハチみつが宮中への献上品となるほど貴重品であったと言われていました。

ハチみつにはたくさんの栄養素が含まれており、夏バテ対策に効果的なので、ハチみつを食べて夏を乗り切りましょう。



いよいよ本格的な夏を迎えましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今年の夏もマスクを外せない日が続くと思っておりますので、熱中症には気を付け、十分な水分を摂るように心がけましょう。

今年の夏も三密を避けた過ごし方が必要になると思います。そんな夏の過ごし方として、キャンプや釣りといったアウトドアに興味を持ち始める方もいるのではないのでしょうか。夏の日差しを遮る木の葉の下でのキャンプ、川のせせらぎを感じるながらの釣りの時間。普段の生活とは違った豊かな自然の中で過ごす時間は、心に安らぎを与えてくれると思います。キャンプや釣りは野外だからと言ってマスクを外すことなく、感染症対策に努めましょう。

最後になりますが、「みやのわ」をお読みいただきありがとうございます。暑い日が続くと思いますが、体調に気を付けてお過ごしください。